

令和8年度 施政方針



人と人がつながり
幸せが循環するまち

～対話で拓く朝来市の未来～



令和8年2月

朝来市長 藤岡 勇

目 次

はじめに	P 1
1. 令和 8 年度予算編成方針等について	P 2
2. 令和 8 年度市政運営の基本的な考え方について	P 4
3. 令和 8 年度の主な施策・事業等について	P10

はじめに

雲の合間からのぞく陽光と色づき始めた空に、待ちわびた春の息吹を感じる時期となりました。

この冬は、最強・最長とされる寒波が居座り、厳しい寒さが続きましたが、何とか大事に至らずこの冬を乗り越えられる見通しに胸をなで下ろす一方で、今年の夏に思いを馳せますと、不安がよぎります。

去年も、今と似た厳しい冬の気候の後、列島各地は記録的かつ危険な猛暑に見舞われ、人々の生活や農業などの地域産業が深刻な被害を受けました。極端な二季化・地球沸騰化とまで言われる気候変動が生態系に及ぼす大きな変化にどう立ち向かっていくべきか、さらに、列島各地で頻発する地震や大規模な林野火災など、私たちの身の回りに潜む危機は、時々刻々、形や規模を変えて迫ってきています。

一方、わが国は急速な人口減少と少子高齢化の進行、物価高やエネルギー問題などの社会経済情勢の大きな転換期に立っています。

こうした中、地方自治体には住民一人一人の暮らしを守り、将来に希望を持てる地域社会を築いていくことがこれまで以上に求められています。

本市においても人口減少への対応、地域経済の活性化、安全・安心な生活基盤の確保など多くの課題を抱えていますが、同時に豊かな自然環境、歴史・文化資源、地域に根差した人のつながりといった強みも有しています。この強みを活かしつつ、前述した様々な危機や問題に対応し「市民の皆様幸せと暮らしを守る」政策に注力してまいります。

さて、第4回朝来市議会定例会の招集に当たり、議員各位の御健勝をお慶び申し上げるとともに、日頃の御精励に対して心から敬意を表し、深く感謝申し上げます。

それでは、令和8年度当初予算（案）をはじめ関係諸議案の御審議をお願いするに当たり、私の市政運営に対する所信並びに施策の基本方針を申し上げ、議員各位並びに市民の皆様の御理解と御協力を賜りたいと存じますので、よろしくお願い申し上げます。

「幸せと暮らしを守る」と掲げ編成する予算は5度目となります。

この所以は、就任以来、様々な波が市民の皆様の日常生活に迫りました。「人口減少・少子高齢化の波」「コロナ感染症の波」「物価高の波」「自然災害の波」これら市民生活を脅かす波から皆様を守ることこそ自身に課せら

れた責務であり「市民の皆様の幸せと暮らしを守る」視点をぐらつかせることなく市政を運営してまいりました。

そして、「人と人がつながり幸せが循環するまち」への挑戦として、市民ネットワークの構築や様々な支援制度の創設と進化(深化)、社会インフラの整備を行ってきた結果、その効果は徐々に現れ、「人と人」や「人と地域」或いは「人と目的地」などの繋がりを見せ始めました。

小さな一歩ではありますが、着実に前に進みはじめ、それに弾みを付けるべく、迎えます令和8年度は、「**未来への飛躍**」を期し、さらなる高みを目指し施策を展開してまいります。

1. 令和8年度予算編成方針等について

次に、令和8年度当初予算案につきましては、国の状況などもあわせて、説明をさせていただきます。

まず、国の予算案についてですが、「生活の安全保障・物価高への対応」、「危機管理投資・成長投資による「強い経済」の実現」、「防衛力と外交力の強化」を3つの柱とする令和7年度補正予算と一体として、切れ目ない経済財政運営を行うこととし、予算規模は、122兆3,092億円と、前年度に比べ7兆1,114億円の増となっています。

地方財政対策の通常収支分につきましては、物価高の中で、経済・物価動向等を適切に反映するとともに、社会保障関係費や人件費の増等を計上することで、地方公共団体が、住民のニーズに的確に応えつつ、様々な行政課題に対応し、行政サービスを安定的に提供できるよう、一般財源総額について、令和7年度を3兆7,364億円上回る額を確保することとしています。

主な地方財政対策としましては、物価高等への対応として、ごみ収集や施設管理の委託料、道路や河川等の維持補修費、改修等に係る投資的経費など、様々な分野における自治体のコスト増にきめ細かくに対応するため、一般行政経費(単独)に1,600億円、維持補修費に750億円、投資的経費(単独)に3,000億円、公営企業繰出金に500億円、合計5,850億円を計上することとしています。

次に、こども・子育て政策の強化として、「こども・子育て支援加速化プラン」による前年度からの地方負担の増について、必要な財源を確保する

とともに、地方公共団体が、こども・子育て政策の地方単独事業を実施できるよう、引き続き、ソフト事業分として一般行政経費（単独）に1,000億円、ハード事業分として投資的経費（単独）に「こども・子育て支援事業費」を500億円計上することとしています。

また、令和8年度の給与改定に備え、一般行政経費（単独）に「給与改善費」4,000億円計上することとしています。

このような国の予算や地方財政対策などを注視しながら編成しました、朝来市の令和8年度の一般会計予算は231億円としており、前年度当初予算額235億1,000万円と比較して、4億1,000万円、1.7%の減となっています。

一般会計予算のうち、歳入の主なものの状況ですが、まず、市税は、個人所得の増による個人市民税の増や好調な企業業績を反映した法人市民税の増などを見込んだ結果、市税全体では、前年度より1億436万9千円多い42億1,682万2千円としています。

地方交付税は、地方財政計画では6.5%の増とされていますが、普通交付税では、市税の増など基準財政収入額の増と公債費の減など基準財政需要額の減により、前年度と比較して4億円減の63億5,000万円、特別交付税は、近年の決算額を考慮して前年度同額の11億円を見込み、地方交付税総額では74億5,000万円としています。

市債は、社会教育施設整備事業債及び市営住宅等整備事業債の減などにより、前年度と比較して、10億8,270万円減の16億3,410万円を予算措置しています。

歳入の確保につきましては、地方財政計画等に基づき、適切に予算措置しておりますが、なお、不足する5億5,350万円、豊岡病院組合貸付金分5億8,650万円、教育振興基金の創設に伴う積み替え分3億円の合計14億4,000万円を財政調整基金繰入金で対応することにより、収支均衡を図る予算としています。

将来にわたって効率的で健全な行財政運営を実現するため、行財政改革の推進、将来を見据えた公共施設の再配置や適正管理などに真摯に取り組み、より健全な財政運営を推進してまいりたいと考えております。

議員各位と市民の皆様の一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

2. 令和8年度市政運営の基本的な考え方について

令和8年度は改訂した第3次総合計画に掲げる将来像の実現に向け、さらなる歩みを進める重要な一年になります。

今回の改訂にあたっては「いかに多くの皆様の声を反映させるか」という視点を持ち、4年間にわたり未来会議やまちづくりフォーラム、ふれあい市長室などを開催してまいりました。

そのような中で賜った御意見は、空き家や耕作放棄地問題、或いは地域自治の存続など人口減少に起因するものが多くありました。

やはり、これらの問題は市民の皆様が肌感覚で実感されている問題であると認識するとともに、皆様のあふれる愛郷心の強さを実感し、その思いに全力で応えていく決意を新たにしました。

そこで必要になるのが、市民生活を徹底して守る姿勢と果敢に挑戦する攻めの姿勢であり、誰もが地域の一員として尊重され、安心して暮らせる地域共生社会の実現と、朝来市に「人が住み、人が働き、経済が循環する」仕組みづくりです。長くこのまちに住んでおられる方々には「やっぱりこのまちがいい」、子育て世代の方には「このまちでこどもを育てたい」、進学などで一時的に離れて住んでおられる方には「帰ろうか朝来市に」、朝来市が初めての方には「このまちに住んでみたい」、そう思われるまちになっていく必要があります。

これは、令和7年度の「**住みたいと思われるまち**」を目指した施政方針を進化（深化）させるものであり、令和8年度はさらにそれらの取り組みを土台として成果につなげ「飛躍」させる年度と位置付け、都市部には無い朝来市に住むことの魅力や利点を対外的に強く発信し、きめ細かく施策を講じてまいります。

以上を踏まえ、ここに令和8年度を迎えるにあたり、市政運営の基本的な考え方を申し上げます。

まずは、改訂した第3次総合計画及び第4次行財政改革大綱に基づき財政規律を遵守し、後世に安定的な財政をつないでいくため「積極的な財源確保と適正な支出」を念頭に取り組みます。

そのうえで、現在実施している施策の進化（深化）を図るとともに、「こどもまんなか宣言」や「ゼロカーボンシティ宣言」、「岩津ねぎの取り組みに係る日本農業遺産認定」など、狼煙^{のろし}を上げ、今後重点的かつ戦略的

に実施していくことを市民の皆様にお知らせしている政策を強力かつ迅速に進めてまいります。

これらを踏まえ令和8年度の予算編成においては、「**幸せと暮らしを守る、未来へ飛躍する予算**」として「**①こどもまんなか社会の実現**」「**②若者視点・市民参画の強化**」「**③誰一人取り残されない社会の推進**」「**④まちの稼ぐ力の強化**」の4つの重点政策を掲げ施策をパッケージ化することで、幅広く市民の皆様を支えてまいります。

未来へ飛躍するための4つの重点政策と

重点政策： ◆こどもまんなか、社会の実現 ◆若者視点・市民参画の強化 ◆誰一人取り残されない社会の推進 ◆まちの稼ぐ力の強化

若者・女性・こどもまんなか

○実施方針

これからのまちづくりの主演となる若者・女性・こどもが地域に参画し「ここに住んでみたい」「住んでワクワクする」と感じられるまちを実現します。

特に子育て分野は、こどもが自らの将来に夢と希望を持つことのできる環境づくりを進め「こどもまんなか社会」の実現を目指します。

○現状や今後の課題

- ・若者の転出
- ・若者の地域との関りの希薄化
- ・若者の未婚化の進行
- ・出産に対する不安や孤独
- ・子育てに係る不安や孤立
- ・こどもの居場所の不足
- ・教育環境の格差 など

いきいき健幸充実

○実施方針

全ての人の人権が尊重され、障害のある人や高齢者が地域社会でそれぞれ役割を持ち、いきいきといつまでもここで暮らしたいと思える社会を実現するとともに、みんなが健康に関心を持ち、自発的に健幸づくりに取り組む体制を構築します。

また、地域の皆様の「困ったな」を解消するため、地域・関係団体・行政の連携強化を図ります。

○現状や今後の課題

- ・日常生活の不便さ
- ・社会参加機会の少なさ
- ・外出意欲の低下
- ・介護を担う家族の心身負担
- ・生活習慣病リスクの高まり
- ・地域での孤立、孤独 など

まちの稼ぐ力を応援

○実施方針

日本農業遺産の認定を受けた岩津ねぎの対外的なPRを強化し、外貨の獲得を強力に進めるとともに、まちづくりのエンジンとなる市内事業者の成長支援を充実させます。

また、落ち込んだ観光入込者数を復活させ、市内観光消費の増加につなげます。

○現状や今後の課題

- ・岩津ねぎブランドの認知不足
- ・農業の後継者不足
- ・市内雇用の不安定化
- ・観光入込者数の減少、観光消費額や滞在時間の減少
- ・鳥獣害対策
- ・農業のスマート化や担い手の確保 など

命を守り、未来を創る

○実施方針

規模や形を変えながら襲い来る自然災害から市民の皆様を守る対策を強化するとともに悪質・巧妙化する詐欺犯罪や交通事故から市民の皆様生命や財産を守る対策を強化します。

また、住みたいと思われるまちを目指し、将来を見据えた都市基盤や交通インフラを整備します。

そのほか、行政DXを取り入れ、省力化と効率化を進めます。

○現状や今後の課題

- ・甚大化する自然災害への対策
- ・凶悪犯罪の被害
- ・日常生活の利便性の向上
- ・外出手段の少なさ
- ・インフラ老朽化対策
- ・二酸化炭素排出量の削減対策
- ・未来を創る基盤として行政DX推進
- ・デジタル人材の育成 など

支援施策のパッケージ

パッケージ

○目指すべき姿

- ・若者・女性の「働く」を増やす
- ・結婚、妊娠、出産の切れ目ない支援
- ・子育て負担の軽減
- ・住まいと暮らしの定着を支援
- ・学びの充実

○実施すること(主なものの抜粋)

- ・女性活躍キックオフセミナーの開催
- ・子育てしやすい環境へ定住促進住宅の住居を改修
- ・妊産婦の健康診査費を全額助成
- ・特定不妊治療を受けられる方の交通費を助成
- ・RSウイルス母子免疫ワクチン定期接種の助成
- ・5歳児健診の実施
- ・3つの無償化の定着(保育料・給食費・医療費)
- ・こども誰でも通園制度の実施及び在宅保育支援事業の継続
- ・こどもの居場所づくりとファミリーサポートの充実
- ・住宅取得、空き家リフォームの経費を補助
- ・遠距離通学児童への対策を強化
- ・中央文化公園周辺における多世代に親しまれる空間の整備
- ・こども計画策定 など



パッケージ

○目指すべき姿

- ・障害福祉・こども発達支援の充実
- ・予防、健康づくりの強化充実
- ・医療介護の情報連携の充実
- ・高齢者の生活の充実

○実施すること(主なものの抜粋)

- ・障害者団体移送費用の助成
- ・重層的支援体制整備のさらなる強化
- ・健康づくりポイント事業のアプリ化による健康増進と地域参加の促進
- ・がん検診による早期発見・早期治療、健康の保持増進
- ・健康増進と交流を育む屋根付運動施設の整備
- ・各種予防接種助成の継続
- ・総合相談支援体制の充実
- ・福祉分野人材の確保に関する補助 など



パッケージ

○目指すべき姿

- ・ふるさと納税の増収
- ・農林業で稼ぐ力の強化
- ・観光で稼ぐ力の強化
- ・創業・起業の伴走
- ・人手不足の解消
- ・生産性の向上

○実施すること(主なものの抜粋)

- ・ふるさと納税のさらなる増収に向け情報発信を強化
- ・住みたい田舎移住促進プロジェクトで移住就農者を支援
- ・農業経営安定化対策として苗代・肥料費等を農家へ補助
- ・有機農業産地づくり・スマート農業の推進(助成)
- ・うまいもんフェスに合わせた日本農業遺産のさらなる強化
- ・NHK大河ドラマと連動したトークイベントと自然環境保全センターの活用
- ・次年度に向けてのXRのさらなる研究と大河ドラマを契機とした誘客促進
- ・3つの補助(にぎわい創出・住宅リフォーム・店舗リニューアル)で市内経済を活性化
- ・クリエイタースクール・しごとゼミなど雇用施策の推進
- ・新たな奨学金支援制度(個人向け)による負担軽減
- ・未来を創る企業の受け皿となる産業団地の整備 など



パッケージ

○目指すべき姿

- ・防災・減災・防犯・交通安全対策の強化
- ・橋梁・道路、下水道等の予防保全と維持管理の適切化
- ・地域公共交通の最適化
- ・自治体DX充実による業務の質の向上
- ・ゼロカーボンに向けた官民一体の取り組み

○実施すること(主なものの抜粋)

- ・3つの補助(家庭用防災用品・防犯対策・いのちを守る交通安全)で安全・安心を強化
- ・道路橋梁長寿命化修繕計画に基づく計画的修繕とAI劣化診断による効率的な管路等更新工事の実施
- ・JR生野駅待合室及びJR和田山駅南北自由通路の整備
- ・文書管理システムや電子決裁の導入
- ・3つの補助(電気自動車等、断熱化工事等、太陽光発電設備等)でゼロカーボンシティを推進
- ・あさご環境フェスタ2026の開催
- ・生物多様性地域戦略の策定 など



ライフステージに合わせた切れ目のない応援(主なもの)

結婚新生活支援補助金

婚活に関するセミナー
及びイベントの実施



説明

経済的な支援
市の支援額

体制的な支援

世代ごとに対象となるサービスを記入していますが、主な世代について記入しているものであり、幅広い世代にわたってサービスを利用できるものもあります。

※1 誕生日により最も多く支援を受けられる月数で試算

※2 毎月医療費の公費負担分の平均(医科及び調剤)に18歳までの月数を乗じて試算



妊婦支援給付金

出生祝事業

妊婦健康診査費助成
全額助成

産後ケア事業

妊産婦移動サポート助成

産婦健康診査費助成
全額助成

不育症治療費助成

【拡充】
一般不妊治療費助成
特定不妊治療費助成
※通院交通費助成

【新規】
RSウイルス母子免疫ワクチン
定期接種
(個人負担なし)

産婦人科・小児科
オンライン相談

新生児聴覚検査費助成
全額助成

1か月児等健康診査費助成
全額助成

※1 在宅保育支援事業
生後7ヶ月から40ヶ月間で
最大40万円を支給

【新規】
こども誰でも通園制度
(乳児等通園支援事業)

【拡充】
保育料の完全無償化
最大69万円を無償化

【新規】
5歳児健康診査

※2 医療費の
0歳から
医療費

インフルエンザ

障害児サービス等利用者

【拡充】
ファミリー・サポート・
(生後6か月～)

朝来市こども

こどもの
多分野が連携した

結婚期

妊娠 出産期

乳幼児期～6歳

【拡充】
小中学校給食費の無償化
(国差額分を負担)
小中学校9年間で
1人あたり約50万円を無償化

【拡充】
遠距離通学支援

学校給食に朝来市産コウノトリ
米(農薬不使用)を提供

適応指導教室「すまいるルー
ム」の運営

【拡充】
生野駅の利便性向上に向けた改修
(高校生からの要望)

無償化
18歳までの
約60万円を無償化

予防接種助成(経鼻含む)

負担額助成

センター事業
小学校6年生まで)

鉄道利便性の向上(パーク&ライド) あさG0の運行 **【拡充】** 路線バス&あさG0にICカード導入

計 画 策 定

居 場 所 づ く り の 支 援 元気アップいきいの場事業(介護予防推進)
相 談 体 制 (重 層 的 支 援 体 制) に よ る 地 域 の 支 え 合 い

学 齡 期 ~18歳 > 青 年 壮 年 期 > 高 齡 期 65歳~

帯状疱疹予防接種助成

人間ドック助成事業(国保・後期高齢者医療保険加入者)

奨学金返還応援企業補助金
(企業向け)

【新規】
奨学金返還支援補助金
(個人向け)

高齢者インフルエンザ予防接種無償化

新型コロナワクチン予防接種助成

高齢者肺炎球菌予防接種助成

高齢者補聴器購入助成

認知症高齢者等GPS機能付
端末購入費助成

個人賠償責任保険加入事業

人生いきいき住宅助成事業

紙おむつ用ごみ袋支給事業

【新規】
福祉人材確保支援事業補助金

がん検診無償化
(20~69歳までの国保加入者及び70歳以上の高齢者)

外 出 支 援 サ ー ビ ス
朝来市、豊岡市、養父市、丹波市、福知山市、神崎郡内の医療機
関または機能訓練施設 15万円~36万円

【新規】 軟骨伝導イヤホンの市役所窓口設置

【新規】 健幸アプリ推進事業によるポイント付与

住 宅 リ フ ォ ー ム 助 成 事 業

高齢者等優待乗車カード
「あこか」の発行



3. 令和8年度の主な施策・事業等について

市政運営の基本的な考え方でお示しした4つの重点政策を実施することにより施策の進化（深化）と加速化を図るとともに、未来への飛躍に向けて新規17事業、拡充20事業を令和8年度の主要な事業として施策を展開してまいります。なお、16事業を休廃止しました。

それでは、第3次朝来市総合計画の6つのありたいまちの姿、基本計画の体系に基づき、令和8年度の主要な事業等について申し上げます。

（1）「やりたい」につながる多様な学びで、未来をつくる「人」を育む

市民の様々なチャレンジの実現につながる人材育成の充実を図るため、あさご未来会議や高校生を対象としたキャリアトークカフェ、デジタルを活用したオンラインプラットフォームのほか、新たに女性や市外在住の若者を対象とした対話の場など、若者を含む多様な人と人がつながる場・対話の場づくりを実施します。また、大学連携による多様な学びの場づくりにより、高校生等のコミュニケーション教育やデジタル人材育成に向けた取り組み等を継続します。

国際感覚の醸成等を目的として実施している中学生の国際交流事業をさらに充実させるため、派遣期間の延長や派遣人数を拡充します。

学校内に安心して過ごすことのできる居場所を確保し、一人一人の状況に応じた学習や生活を支えるため、令和8年度から全ての小中学校に校内サポートルームの設置と支援員を配置します。

児童の登下校時の安全確保及び身体的・精神的負担の軽減を図るため、スクールバス等による通学支援に係る遠距離通学の対象地区や運行内容の見直しを実施し、遠距離通学児童を支えます。

少子化等により学校部活動の継続が困難となる中、地域と連携した持続可能な活動環境を構築することで、生徒一人一人の多様なニーズに応じたスポーツ・文化芸術活動の機会を確保するため、市内中学校に在籍する生

徒及び地域クラブ、スポーツ・文化芸術団体等に対して部活動の地域展開に向けたモデル事業を実施し検証を行います。

多様な学びの推進及び教育の質の向上等、教育の振興に必要な財源に充てるため、未来を担うこどもたちが将来に夢と希望を持てる教育環境の実現を目的として「朝来市教育振興基金」を創設します。

小中学校給食の質、安全性を維持するため、コウノトリ米（栽培期間中農薬不使用）を提供するとともに、給食費の国県負担分の差額を市が独自で負担することで、給食費の保護者負担分の完全無償化を定着させます。

小中学生のスポーツ技術・意識の向上を図るため、市内小中学生を対象にトップアスリートと交流する「子どもスポーツ夢教室」を令和8年度は「バレーボール教室」として開催するほか、市内スポーツ指導者に対しても、元トップアスリートによる講演会を実施します。

スポーツの推進を図るほか市民の交流・健康づくりを支えることで「やってみよう」という意欲の喚起につなげるため、和田山中央文化公園内に第1次整備として屋根付運動施設の実施設計及び駐車場用地の確保を行います。

スポーツを通じて健康増進と世代間・地域間交流を図るため、山東モルック大会を開催し、ニュースポーツの普及を推進します。

固定的な性別役割分担意識を解消し、性別にかかわらず誰もが個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現のため、市民や事業所の経営層等を対象に「女性に選ばれ、女性が活躍できる地域・職場づくり」に向けたキックオフセミナーを開催します。

市民一人一人がかげがえのない存在として尊重され、部落差別問題をはじめとするあらゆる差別やインターネットなどによる人権侵害を解消し、誰もが自分らしく輝ける共に生きる社会を実現するため、人権教育・人権

啓発の多様な機会の提供や住民相互の理解と交流を広げる施策を実施します。

市民が優れた芸術文化に触れる機会を創出するため、朝来市文化会館において、幅広い年代層の方々に対して、「公演鑑賞型」や「市民参加型」の自主文化事業を実施するほか、あさご芸術の森美術館では、芸術性が高く、来館者ニーズに適合した各種企画展、絵画、陶芸、織物の各講座を開催します。また、創作活動に励んでいる人々の成果の発表を通じて、市民の芸術文化活動を奨励するため、公募展の開催や「豊岡演劇祭in朝来」、「アートマーケット」等のイベントの開催や芸術文化観光専門職大学（CAT）と連携し学生の参画を呼びかけます。

ささゆりホールを多様性のある施設として維持していくため、客席の修繕工事を実施します。

（２）人と自然が共生しながら地域で循環する産業を確立する

市内企業の人材確保を図るとともに若者の地元就職及び定着を促進するため、奨学金返済負担軽減制度を設けている市内企業の負担の一部を補助（企業向け）するとともに、新たに市内企業等に正社員として就職した市民に対しても、奨学金返還の一部を補助（個人向け）することで、若者に選ばれるまちとして、一層の進化（深化）を図ります。

市内における雇用の推進と人材の定着、女性の活躍を促進するため、女性や学生、UIJターン希望者に対し、朝来クリエイタースクール、お仕事相談会、ASAGO i NGゼミU-18しごとゼミ、オンライン合同企業説明会等を実施し、引き続き多様な人材雇用を支えます。

以下の３つの補助金により市内経済循環施策を推し進めます。

- ① 市内ににぎわいをもたらす、起業等の機会を創出するため、市内の空き家、空き店舗を利用して開業する方に対し店舗改装費、店舗賃借料

等の一部を補助します。

- ② 市内産業の活性化及び雇用の創出を図るとともに、市民の住環境の向上を図るため市内事業者を活用し住宅リフォームを行う市民に対し改修工事に係る費用の一部を助成します。
- ③ 市内事業者の経営の安定と市内経済の活性化を図るため、市内で店舗を経営する中小事業者等に対し、店舗リニューアル工事に係る費用の一部を助成します。

若者の流出による人口減少への歯止めや市内企業の生産力の向上を図るため、企業誘致や市内事業者が新たな設備投資を行う際の受け皿となる新産業団地の整備を令和8年度から推し進めます。

日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」の普及啓発を図るため、市民及び観光客等来訪者に対して、銀の馬車道が修築から150周年を迎えることを契機とした企画展及び生野鉱山ゆかりのバラの普及・整備等を実施します。

観光消費の持続的な拡大を図るため、誘客に向けNHK大河ドラマと連動したトークイベントを開催するほか、歴史雑誌への記事掲載やツーリズムEXPOなどの展示商談会で積極的に情報を発信します。また、酒蔵体験や古民家宿泊など、本市の趣を体感できるツアーイベント等も情報を発信します。

臨場感のある竹田城跡の魅力を伝えるため、次年度の導入に向けデジタル技術のXR（クロスリアリティ）※を引き続き研究します。

※XR：現実世界と仮想世界を融合し、新しい体験を創造する技術

岩津ねぎをはじめとする特産物の生産・販路拡大と農地の適正管理を図るため、朝来市に移住・定住し、儲ける農業を目指す農業研修生に対し、農業研修費及び経営開始補助金を補助します。

市内農業者を対象に有機農業の面積拡大と生産者数の増加を図るため、BLOF理論に基づく栽培技術講習会の開催や土壌分析の実施、環境にやさし

い農業産地づくりに必要な機械の購入費用の一部を補助します。また、地産地消を通じた食育を推進するため、市内こども園や小・中学校の学校給食へ農産物を提供します。

主食用水稲苗及び野菜等生産農家のコストの低減及び生産意欲の維持、高揚を促し農業経営の安定化を図るため、生産者に対し、主食用水稲苗及び育苗に要する費用、野菜等の生産に係る肥料等資材に要する費用の一部を補助します。

日本農業遺産認定を契機にさらなる岩津ねぎブランドの推進及び市内特産品の PR を図るため、岩津ねぎの生産性向上のための実証実験や優良種子保存にかかる取り組みのほか、全国ねぎサミット等への参加、あさごうまいもんフェスと合わせ関西圏のねぎ産地による（仮称）関西ねぎフェスへの参加依頼等を行います。

地域農業の労働力不足の解消、作業の省力化及び経営の効率化を図るため、スマート農業に資する必要な機械等の購入費用の一部を補助するほか、RTK※を活用したラジコン草刈り機の貸し出しなどスマート農業の取り組みをより一層推し進めます。 ※RTK:GPS を用いて位置情報を高精度に測位する技術

森林、林業の抱えている多くの課題解決を図るため、森林所有者や一般市民に対し、「あさご森」の3つの基本方針に沿った事業（令和8年度新規事業として里山林整備事業の創設、私有林間伐事業、森林環境教育事業、木育玩具支給事業、竹粉碎機貸出事業、危険木・竹林伐採支援、薪ストーブ等支援事業等）を森林環境譲与税を活用し計画的に推進します。

「第4次朝来市環境基本計画」を着実に進めるため、計画に掲げる施策や取組をあさご環境フェスタ 2026 の開催などを通じて継続的に周知啓発するとともに、朝来市環境審議会にて計画の進捗状況の評価・検証を実施します。

豊かな生物の多様性を保全し、その生態系サービスを将来にわたって享受できる社会の実現を図るため、生物多様性地域戦略の策定やレッドデータブック・ブラックリストの作成に取り組むとともに、特定外来生物の防除に向けた周知啓発を実施します。

朝来市が、わが国屈指の自然環境学習等の拠点として世界的に注目を集め、関係人口や活動人口の増加を通じた地域活性化を図るため、朝来市自然環境保全センターにおいて朝来市の豊かな自然環境の展示や解説を行うとともに、その象徴である特別天然記念物オオサンショウウオの調査・研究を進め、国内外への環境教育や情報発信を推し進めます。

埋蔵文化財センター開館 20 周年を記念し、NHK大河ドラマと連動した企画展や「銀の馬車道 150 年」に関連する講演会・企画展を実施します。

そのほか、地域の歴史文化遺産の適切な保存・継承とその価値を発信することで地域活性化を図るため、文化財保存活用地域計画策定に向けた^{しっかい}悉皆調査や地域住民との座談会を通じて、市内に所在する歴史文化遺産を把握してまいります。

（３）多様なつながり・交流を育み、地域力をより高める

地域の課題解決と活性化を図るため、引き続き地域おこし協力隊を受け入れるにあたり、受入団体との連携を図りつつ、隊員が行う地域課題解決のための活動を支えます。また、おためし地域おこし協力隊に加え、新たに地域おこし協力隊インターンを受け入れます。

移住定住人口の増加と空き家の活用を図るため移住希望者や空き家の購入希望者に対し従来の住宅取得、賃貸住宅家賃、空き家改修に係る補助を行うとともに、若者世代を中心とした移住定住の促進に加え、Uターン・孫ターン者に向けて制度を推し進めます。また、結婚新生活支援事業補助金を継続していくほか、未婚男女の結婚を考えるきっかけとなるセミナーや出会いの場を提供します。

国籍、言語、文化の違いにかかわらず、お互いを尊重し対等な関係のもとで地域社会の一員として共に暮らす地域づくりを推進するため、「朝来市多文化共生推進基本方針」を策定します。

障害の有無や年齢を問わず、市民の幅広い交流と地域参加を促すため、Web版地域情報共有掲示板「ためまっぷあさご」を運用し、身近な地域行事等をお届けします。

（４）誰もが居場所や役割を持ち、健幸で心豊かな暮らしを実感できる

こどもが安心して過ごすことのできる「こどもの居場所づくり」を促進し、身近な地域でこどもたちの成長を支えるため、こどもの居場所づくり活動を実施する団体に対して運営にかかる費用を補助します。

子育ての不安や負担の軽減及び仕事と育児を両立できる環境を整え、市民が安心して子育てできる環境の充実を図るため、ファミリー・サポート・センター事業の運営について、業務委託を実施し、会員増や会員相互の交流等を推進します。

こどもの特性を早期に把握し、就学前に必要な支援を行うため、5歳児健康診査を実施するとともに、子育ての不安や心配ごとを相談できる機会を提供します。

こどもを持ちたいと望む方の不妊治療を支えるため、特定不妊治療を受けられる方に対して、これまでの不妊治療助成に加え、新たに先進医療の有無に関わらず特定不妊治療にかかる交通費を助成します。

生まれてくる赤ちゃんのRSウイルス感染症を予防するため、妊婦に対してRSウイルス母子免疫ワクチンの定期接種を実施します。

全てのこども・若者が将来にわたって幸福な生活を送ることができる「こどもまんなか社会」を実現するため、朝来市内のこども・若者及び子

育て当事者等を対象に対話等を行うとともに、子ども・子育て会議の審議を経て、「朝来市こども計画」を策定します。

子育て世帯の経済的負担を軽減し、子育て支援をより強化するため、第1子の保育料を無償化し、保育料の負担が生じないようにします。さらに、公立こども園の給食費を無償化し、私立保育園・こども園についても給食費無償化相当額を補助します。

引き続き多様な子育て環境を支え、こどもの健全育成と子育てしやすい環境づくりを進めるため、乳幼児を保育園等に預けず家庭で保育している保護者等に対し、在宅保育支援金を支給します。

こどもの心を豊かにし、健やかな成長を促すとされる「木育」の取り組みを推進していくため、市内保育園・こども園に対して、木製玩具を配布します。

こどもの良質な成育環境を整備するため、保護者の多様な働き方やライフスタイルに関係なく、0歳6か月から満3歳未満の未就園児に対して、月16時間（国基準の10時間に6時間を上乘せ）を上限に時間単位で柔軟に安心して利用できる「こども誰でも通園制度（乳児等通園支援事業）」を進めます。

高齢化の進行や相談支援ニーズの多様化に対応していくため、総合相談の受託機関を4か所から5か所へ拡充し、市内全域をバランスよくカバーする総合相談支援体制を構築します。

不足する介護・障害福祉分野の人材を確保するため、令和8年4月1日以降、新たに市内の介護・障害福祉事業所に介護職等の正規職員として就職した人に対して就職奨励金を、継続して1年勤務後及び3年勤務経過後には継続奨励金を交付します。また、介護・障害福祉事業所に勤務する人の育成及び専門性の向上を図るため、従事する分野で必要な研修を受講した人に対し、自己負担した受講費用を助成します。

地域の支援が必要な人を早期に把握し支えるため、多分野が連携した相談支援体制を構築するとともに、アウトリーチ等支援と参加支援のコーディネーターを配置し、包括的な支援体制を構築します。

障害のある人やその家族に対する相談支援の強化・充実を図るため、市内外の障害者(児)相談支援事業所に相談支援業務を委託するとともに、身寄りのない知的・精神障害者等に対する成年後見制度の利用を促します。

がんの予防、早期発見・早期治療により市民の皆様の健康の保持増進とがん患者の心理的負担の軽減を図るため、がん検診の実施とがん治療を受けた方を対象にがん患者医療用補整具（医療用ウィッグ、補正下着、人工乳房）の購入費用の一部助成を実施します。

聞こえにくい人への配慮として、市役所窓口での相談や各種申請の際に安心してコミュニケーションがとれる環境を整備するため、市役所本庁舎及び各支所に「軟骨伝導イヤホン」を設置します。

障害者の日常生活の手助けを強化するため、人工内耳を福祉用具の給付対象に加えます。また、移動に係る不便さを解消するため、タクシー利用を助成するほか、自立した生活や就職を目指すための訓練や自宅入浴が困難な人に対する訪問入浴の機会を提供します。

障害者団体の活動における移動手段を確保し、福祉活動や社会参加を継続的かつ円滑に行えるようにするため、市内の障害者団体に対して活動に係るタクシー利用料金を助成します。

障害のある人の社会参加を促進するため、ろう者に対する意思疎通支援者の派遣及び手話奉仕員を養成する講座を開催するとともに、障害者スポーツ大会の開催や自動車運転免許の取得、自動車改造に係る費用を助成します。

健幸づくりへの意識の高揚と地域貢献意欲の向上を図るため、健幸づく

りポイント事業をアプリ化し、18歳以上の市内在住、在勤、在学者を対象に、市や地域主催の行事等への参加に対してもポイントを付与します。貯まったポイントは、学校等への寄附のほか、電子通貨に交換できる仕組みを構築します。

（５）市民の暮らしを支える安全・安心な都市基盤を持続する

花づくりを通して潤いと癒しのある美しいまちづくりを推進し、市の景観形成の増進と地域交流の促進を図るため、引き続きオープンガーデンの開催及びこども園や小学校、地域自治協議会と協力して寄せ植え教室を実施します。

各地で多発しているクマ被害から市民や狩猟者を守るため、地域の不要果樹の伐採や「クマ捕獲用箱わな」へのセンサー設置を進めます。

朝来市の玄関口となるＪＲ和田山駅の利便性向上を図るため、ＪＲ和田山駅南北自由通路の基本設計及び関係機関との調整を推し進めます。

公共交通利用者の利便性向上と高校生等の若い世代に親しまれる居場所をつくるため、地域住民、生野中学生や生野高校生との対話を重ねながら、ＪＲ生野駅東口待合室複合交流センター「いくイエ」の整備を進めます。

地域の防災力の向上（災害に対し迅速に対応）を図るため、消防団に対して老朽化した消防機庫の新築更新、計画的な消防車両の更新を進めます。

能登半島地震を踏まえ国の防災基本計画や兵庫県地域防災計画が修正されたことや令和８年出水期から防災気象情報の運用が一部変更となるため、現行法との整合を図るとともに、近年の大災害の教訓を踏まえ、朝来市地域防災計画を改訂します。

災害発生時のスムーズな応援・受援体制や調査から罹災証明書発行まで

の迅速化等、応急対応の実効性を高めるため、兵庫県および県内自治体で新たに構成する「被災者支援システム管理運営協議会」に加入し、システムの運用を行います。

以下の3つの補助金により、安全安心なまちづくりを推し進めます。

- ① 市民の防犯意識の向上と犯罪抑止力の強化を図り、安全で安心な暮らしを確保するため、住宅の防犯対策に係る費用の一部を補助します。
- ② 高齢者の交通事故抑止及び事故発生時の被害の軽減を図るため、運転免許証を返納した高齢者のシニアカー購入費用、安全運転支援装置設置費用及び自転車用ヘルメットの購入費の一部を補助します。
- ③ 市民一人一人の自然災害から命を守る行動を促進するため、家庭用防災用品の購入費の一部を補助します。

生活道路や通学路における「予防保全型」交通安全対策の強化を図るため、市管理道路において、デジタルデバイスを活用し、通学路の交通安全対策を実施します。

橋梁やトンネルの「予防保全型インフラメンテナンス」を推進するため、市管理橋梁及びトンネルにおいて、朝来市道路橋梁長寿命化修繕計画などに基づき計画的な修繕を実施します。

行政活動や経済活動を円滑に行うため、土地利用の基礎となる地籍の明確化を図るため、地籍調査を推進します。

定住促進住宅の居住性向上を図るため、畳のフローリング化や間取りなどを変更し、モデルルームとして整備のうえ子育て世帯等へ住環境を提供します。

安全安心な水道水の安定供給を持続するため、水道施設・水道管路のA I 劣化診断等に基づく選択と集中による効率的な管路更新、老朽化した機械設備の更新による施設長寿命化に取り組むほか、向こう10年間にわたる水道事業の基本計画である水道事業ビジョンを改訂します。

文化的かつ衛生的な住みよい生活環境を保持するため、下水道施設のストックマネジメント事業による施設長寿命化、統廃合の推進、維持管理業務の包括化等、事業運営効率化に取り組みます。

ゼロカーボンシティの実現に向けて、二酸化炭素排出量の削減を図るため、「朝来市エコ・ライフスタイルキャンペーン 2026」として、電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車及びV2H充放電設備の購入に係る費用の一部を補助します。また、省エネルギー性能を向上させる断熱化等の改修工事及び太陽光発電設備等に要する費用の一部を補助します。

公共交通利用者の利便性向上とデータによる公共交通政策の検証を進めるため、市内を運行する路線バス及びデマンド型乗合交通「あさGO」に交通系ICカードによるキャッシュレス決済の環境を整備します。

（6）まちの動きや情報を戦略的につなぎ、効率的で健全な行財政運営を実現する

事業のコンセプトやイメージを明確にした市民に伝わる情報の作成スキルを身に付けるため、職員を対象としたデザイン研修を行います。

市内の状況を見聞きし、対話を基調とした市政運営を推し進めるため、市民と近い距離で意見交換をする「ふれあい市長室」を再開します。令和8年度は生野・和田山地域、令和9年度は山東・朝来地域を予定しています。

健康保険証や運転免許証との一体化への対応など、マイナンバーカードの利活用を定着させるため、申請時のサポートや休日・時間外における申請・交付窓口を開設します。また、カード機能の維持・啓発として、カードに記録されている電子証明書の更新手続きについて周知します。

効果的かつ効率的な行財政運営を実現するため、全ての行政運営に対して、第3次総合計画を基軸とした事務事業評価及び施策評価を実施すると

ともに、第5次行財政改革大綱の策定及び公共施設再配置計画の改訂を行います。

戸籍の氏名への「振り仮名」表記制度の導入に伴う混乱の防止など、改正戸籍法の円滑な施行と定着を図るため、戸籍の氏名に振り仮名が表記されることについて引き続き広報・周知します。

誰もが利用しやすく交流が芽生える公共空間を創出するため、新生野庁舎内に図書館、生涯学習センター及び子育て学習センターを整備することで、ワンストップで「行政・学び・交流」のハブとなる施設の整備を推進します。

広域連携による地域活性化を図るため、日本遺産「播但貫く 銀の馬車道 鉱石の道」に係る市町との相互連携を深め、産業遺産を活かした地域活性化を推進するとともに、生野鉱山と歴史的にかかわりの深い世界遺産・佐渡鉱山を有する佐渡市との連携を深め、市内イベントへの相互出展などに取り組みます。また、多分野で交流のある福知山市及び丹波市との相互連携において、エリアとしての地方創生につなげるための取組を引き続き実施します。

未来に向けての投資となる子育て施策などの財源を確保するため、ふるさと寄附に関する情報発信を強化し、さらなる増収を目指します。

デジタル技術を最大限に活用し、事務の効率化とペーパーレス化を図るため、新たに文書管理システムを導入し、財務会計システムの更新とあわせて「電子決裁」を仕組みの基本に据えることで、より迅速で透明性の高い執行体制を築き上げます。併せて、例規システムの機能拡充や生成AIなどの先端技術も積極的に取り入れ、業務の質の向上と徹底した省力化と効率化を推進します。

生涯学習センターや社会体育施設等の利用者に対するサービスの向上を図るため、既存の公共施設予約システムをキャッシュレス決済に対応し、

操作性の向上を図ることができる予約システムに更新します。引き続き、情報格差の解消を図るため、市民に対してスマートフォンの基本操作を習得していただくためのスマホ教室や、個別の疑問を解消できるよう支援するためのスマホ相談会を開催します。

令和8年度は朝来市が将来に向けて確かなる一歩を踏み出す重要な年となります。

市民の皆様の声に真摯に耳を傾け、地域の力を結集しながら誰一人取り残さない市政運営に全力で取り組んでまいります。

市議会をはじめ、市民の皆様の御理解と御協力を心よりお願い申し上げます。

以上、市政運営に関する私の所信の一端と令和8年度における主な施策及び事業について申し上げ、施政方針とします。

令和8年度 第3次朝来市総合計画の施策体系に基づく主要事業

① やりたいに繋がる多様な学びで、未来をつくる「人」を育む

- 創生人財育成プロジェクト事業
- 【拡】○不登校児童生徒支援員配置事業
 - 小学校特色ある学校づくり事業
 - 中学校特色ある学校づくり事業
- 【拡】○小学校遠距離通学支援事業
- 【新】○部活動地域展開推進事業
- 【拡】○中学生国際交流支援事業
- 【拡】○給食センター運営管理事業(給食費無償化分)
- 【新】○図書館運営管理事業(生野庁舎分)
 - 山東支所一般管理事業(ニュースポーツ推進)
 - 社会体育事業
 - 体育施設整備事業(屋根付運動施設)
- 【新】○男女共同参画推進事業(女性活躍キックオフセミナー分)
 - 文化会館自主文化事業
 - 文化会館施設等整備事業
 - 美術館企画展事業
- 【新】○基金積立金(朝来市教育振興基金分)

② 人と自然が共生しながら地域で循環する産業を確立する

- 雇用推進事業
- 【新】○奨学金返還支援事業(個人向け分)
 - にぎわい創出事業
 - 住宅リフォーム助成事業
 - 店舗リニューアル助成事業
 - 企業誘致促進事業
 - 住みたい田舎移住促進プロジェクト事業
 - 有機農業産地づくり推進事業
 - 農業経営安定化対策事業
 - 日本農業遺産推進事業
- 【拡】○スマート農業推進事業
- 【拡】○森林経営管理事業(里山林整備事業分)
- 【拡】○観光プロモーション事業(大河ドラマ記念トークイベント分)
- 【拡】○環境保全推進事業(生物多様性地域戦略等分)
- 【新】○天然記念物保護活用事業(自然環境保全センター分)
 - 日本遺産活用事業
 - 歴史観光施設運営管理事業

③ 多様なつながり・交流を育み、地域力をより高める

- 【拡】○地域協働推進事業(地域おこし協力隊インターン受け入れ分)
- 【新】○多文化共生・国際交流事業(多文化共生推進基本方針策定分)
 - 定住促進事業
- 【拡】○重層的支援体制整備事業(ためまっぶ分)

④ 誰もが居場所や役割を持ち、健幸で心豊かな暮らしを実感できる

- 【拡】○こども園運営管理事業(保育料完全無償化分)
- 【新】○こども園運営管理事業(こども誰でも通園制度分)
 - こども計画策定事業
- 【拡】○私立保育所・こども園運営改善支援事業(給食費無償化分)
- 【新】○児童福祉一般管理事業(こどもの居場所づくり事業分)
- 【拡】○ファミリー・サポート・センター事業
- 【新】○子育て学習センター整備事業(生野庁舎分)
- 【新】○母子保健事業(5歳児健診分)
- 【拡】○不妊・不育症治療費助成事業(特定不妊治療交通費助成分)
- 【拡】○重層的支援体制整備事業(コーディネーター配置分)
 - 障害者(児)地域生活支援事業
- 【新】○老人福祉一般管理事業(軟骨伝導イヤホン庁舎窓口設置分)
- 【拡】○地域包括支援センター運営事業(総合相談支援体制)
- 【新】○福祉人材確保支援事業
- 【新】○予防接種事業(RS ウイルス母子免疫ワクチン定期接種)
 - がん対策事業
- 【新】○健幸アプリ推進事業

⑤ 市民の暮らしを支える安全・安心な都市基盤を維持する

- 花づくり推進事業
- 消防施設等整備事業
- 防災推進事業(地域防災計画改定分)
- 犯罪対策支援事業(身を守る防犯対策補助金分)
- 道路橋梁新設改良事業
- 【拡】○路線バス等生活交通利用促進事業(ICカードキャッシュレス分)
- 【拡】○都市計画総務一般管理事業(JR 生野駅分)
- 【拡】○定住促進住宅整備事業(子育て世帯等分)
 - 地籍調査事業
 - コミュニティ・プラント整備事業
 - し尿処理施設整備事業
- 【新】○ゼロカーボンシティ推進事業

⑥ まちの動きや情報を戦略的につなぎ、効率的で健全な行財政運営を実現する

- 広報広聴事業
- 行政マネジメント推進事業
- ふるさと寄附金事業
- 【新】○庁舎整備事業(生野庁舎分)
- 【拡】○自治体DX推進事業(文書管理システム等分)
 - 戸籍住民基本台帳事業